

## 明豊祭の作文

今週から作文を紹介します。はじめは1組からです。

僕は明豊祭の日まで合唱が嫌いでした。まず、合唱のようなみんなで行うことが嫌いで、自分がプライドが高いのもあり誰かのミスで勝負事に負けるのも嫌いでした。明豊祭が終わった今でも負けるのは嫌だし、一人でできることが好きだけれど、明豊祭を終わってみたら音楽と歌のすばらしさがわかり、みんなで何かをやるのが少しだけ好きになりました。みんなでやる何かを好きになれたのは、自分自身も練習を頑張ったことやクラスの間みんなも頑張っていたこと、勝ち負けは大事だけれどやるべきことにどれだけ熱心に取り組むことができたかがとても大切だと思ったからです。吹奏楽部の演奏もすばらしかったし、みんなの合唱もすばらしかったです。これらを通して考えてみると今年は最高の明豊祭になりました。

僕はまだ1年生なので、あと2回ずつ運動会や明豊祭がやってくるけれど、全力で取り組んで嫌いなことも少しずつ好きにして苦手を克服していきたいと思いました。全力で取り組めばうまくいくということを明豊祭に教えてもらいました。

私は、明豊祭と放課後練習を通して「仲間との団結力、楽しむ気持ち」が大切だということを学びました。どうしてそう思ったかというと放課後練習の最初の頃は私もみんなも「歌おう oh my happiness」を歌うことが恥ずかしいと思っているような気がしていました。（これは個人的な意見です。）でも、徐々に歌詞がわかってくると歌うことが楽しくなっていき、肩を組んでみたりして、だんだんみんなの心が一つになっていくような気がしていました。だから放課後練習では「楽しむ気持ち」がとても大切だと感じました。

明豊祭の前には、歌とピアノ伴奏が合わなかったり、手拍子のタイミングが合っていないときがあったりしました。ですが、当日黒板アートをみんなで描いたり、円陣を組んだり「笑顔で楽しもう」と声を掛け合ったことにより、本番の合唱は今までで一番うまく歌うことができて、手拍子もピアノ伴奏も完璧だったと思いました。本番では「団結力」が大切だと学ぶことができました。

私は、明豊祭・放課後練習を通して、これらを学べてよかったと思っています。合唱は悔しい結果になってしまったけれど、今回のことを来年や再来年の明豊祭、これからの学校生活のすべてのことに生かしていけるといいなと思っています。

運動会に続く大きな行事が終わりました。明豊祭当日まで2週間続いた放課後練習では、クラスの友達の知らなかった一面を知れたり、新たに仲良くなれたりした友達もいたのではないのでしょうか。これから先も自分たちが歌った歌を聞くと1年生のときのあれこれを思い出す人も多いのではないかと思います。